

## 観点別学習状況の評価と評定への総括について

### 1 観点別学習状況の評価の観点ごとの総括

(1) 単元における観点ごとの評価の総括【事例：第2学年「心のきずなをとらえる」(全7時間)】

評価規準に照らし合わせ、三段階(a、b、c)で評価する。また、同時に補助簿等を作成して、生徒の特記事項を記録する。

- 評価規準に対して
- a：十分に満足できると判断されるもの
  - b：おおむね満足できると判断されるもの
  - c：努力を要すると判断されるもの

観点	国語への関心・意欲・態度			読む能力				言語についての知識・理解・技能
	読み深めていきたいことをもとに、主人公の心情の変化を核とした自分の学習課題(読み深めの視点)をもっている。	読みの視点に従って自分の読みをノートに書いている。	自分の生活を見つめ、自分と人とのきずなについての考えをもっている。	美術嫌いのゼブラが講座に申し込んだのはウィルソンさんに対する興味の表れであることが左手の役割、会話の変化などによって表現されていることを理解している。	「今見るとちゃんとした手に見えた」には、ウィルソンさんの授業を通して今までの考え方に変化が見られ始めたゼブラの心情が象徴的に反映していることを理解している。	ゼブラの心情の変化をもたらしたのは、ウィルソンさんとの出会いであること、そして、ゼブラの心の回復が左手によって象徴的に表現されていることを理解している。	人と人とのきずなについて、自分の生活と照らし合わせて意見をもっている。	象徴的な表現の効果に注意しながら読んでいる。
生徒氏名	学習プリント	ノート・観察	感想文	ノート・発言	ノート・発言	ノート・発言	ノート・発言	ノート・発言
生徒ア	a	a	a	a	b	b	a	a
生徒イ	a	b	b	b	b	a	b	b
生徒ウ	c	b	c	c	b	c	c	c

単元の評価を観点ごとに総括する。

- ・それぞれの観点(上の例の場合「国語への関心・意欲・態度」「読む能力」「言語についての知識・理解・技能」の三観点)において、評価の総括をする。

観点 生徒氏名	関心・意欲・態度				読む能力				言語	
				総括				総括		総括
生徒ア	a	a	a	A	a	a	b	a	A	A
生徒イ	a	b	b	B	b	b	b	b	B	B
生徒ウ	c	b	c	C	b	c	c	c	C	B

(2) 学期末における観点ごとの評価の総括

単元ごとに総括した観点別学習状況の評価を5観点の窓でそれぞれ一覧表にする。  
各観点ごとに学期の総括を行う。

観点	国語への 関心・意欲・態度						話す・聞く 能力				書く 能力			読む能力				言語についての 知識・理解・技能									
	単元	単元	単元	単元	単元	学期の総括	単元	単元	単元	学期の総括	単元	単元	学期の総括	単元	単元	単元	学期の総括	単元	単元	単元	単元	単元	文法	文法	漢字の学習	漢字の学習	学期の総括
生徒氏名																											
ア	A	B	A	A	A	A	A	B	A	A	B	B	B	B	A	B	B	A	A	B	B	A	B	A	A	A	A
イ	B	B	B	B	C	B	B	C	B	B	B	B	B	B	B	C	B	B	B	B	B	A	A	B	A	B	B

2 観点別学習状況の評価から評定への総括

(1) 基本的な考え方

評定は、学習指導要領に示す国語科の目標に照らして学習の実現状況を総合的に評価するものである。観点別学習状況の評価は、評定を行う場合において基本的な要素であり、観点別学習状況の評価と評定は以下ようになる。

観点別学習状況の評価		評定	
十分満足できる	A	特に程度の高いもの 十分満足できる	5
おおむね満足できる	B	おおむね満足できる	3
努力を要する	C	努力を要する 一層努力を要する	2 1



関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語	評定
A	A	A	A	A	4又は5
B	B	B	B	B	3
C	C	C	C	C	2又は1

同じ「A」「B」「C」という評価結果についても、それぞれの評価結果が示す実現状況には幅があり、日常観察や各単元の評価の積み上げから総合的に判断する。

(2) 学年末における観点ごとの評価の総括と評定への総括

氏名	総括 観点	学期の総括			観点別 の総括	評定
		1学期	2学期	3学期		
生徒 工	国語への関心・意欲・態度	A	A	A	A	4
	国語への関心・意欲・態度	A	A	A	A	
	話す・聞く能力	B	A	A	A	
	書く納力	A	A	A	A	
	読む能力	A	B	A	A	
生徒 才	言語についての知識・理解・技能	A	A	A	A	2
	国語への関心・意欲・態度	C	C	C	C	
	話す・聞く能力	C	C	B	C	
	書く納力	C	C	C	C	
	読む能力	B	C	C	C	
	言語についての知識・理解・技能	C	C	C	C	